

財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

2013年1・2月号

発行編集人

財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
理事長 シュベネマン クラウス

発行所

日本クリスチャン・アカデミー
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第541号

教育の内容や質は一国の将来に大きな影響を与える。教育を通じて偏狭な愛国心を若者の心に注入することもできれば、他者との違いを冷静に認識し、他者との対話に開かれた寛容を養い育てることもできる。同様に、神学教育の内容や質は教会の将来に大きな影響を与えるに違いない。ここでは、神学校や神学部における狭い意味での神学教育にとどまらず、教会における信徒教育をも視野に入れた広い意味での神学教育の今後のあり方について一考してみた。

キリスト教の正統信仰や伝統的な神学をいかに次世代に継承していくかは、もちろん重要な課題である。私も日常的にはそうした作業に関わっている。しかし、キリスト教の内部にいる人たちを伝統のよき継承者にするだけでは問題は解決しない。今後、キリスト教が健全に世代交代を進めていくためには、教会の外にいる人たちに届く言葉を鍛え上げていく必要がある。

この課題を考える上で、本誌『はなしあい』二〇一二年五月号に掲載されていた橋爪

大三郎氏による講演「やつぱり不思議なキリスト教——なぜ日本で成功しないのか？」の報告記事が参考になる。同氏は、日本ではなぜクリスチャンが増えないのか、という問いに対し、「教会は誰に對しても開かれている」と言いながらも、実際には内側に閉じていると言う。そして、

ておらず、他宗教を信仰する人たちの精神世界を分析できない」。きわめて当たり前の指摘である。しかし、この当たり前さを現代のキリスト教がどの程度、真剣に受けとめているかが、ここでは問われている。明治期から昭和前期の指導的なクリスチャンたち、た

今後の神学教育について

——二つのインターフェイス



関西セミナーハウス活動センター
運営委員 小原 克博

報告は次のように続く。「日本のキリスト教は「ライブル」に関心がない。日本の他の宗教について研究する、聖書や神学書は読んでも、キリスト教以外の宗教書を読む、ということは行われていない。その結果、他宗教を語り、また語りかける語彙が乏しいがために、宗教個々の個性を認め

たとえば、内村鑑三、新渡戸稲造、賀川豊彦らは、他宗教を含む日本文化とキリスト教の関係を真剣に考え、両者をつなぐインターフェイス(interface)の役割を強く意識していた。そこに不可避的に紛れ込んできた愛国心やナショナリズムにどのように対応するかは、いつも難題であった。しかし、時代の変化と共に、インターフェイスを適宜アップデートしていかなければ、基本的な情報のやり

取りすら困難になっていく。現在、データのやり取りをするためにフロッピーディスク(今は死語になりつつあるが、かつては汎用性のあるインターフェイスであった)をもらったとしても、それを読み取ることすらできないように、旧態依然としたインターフェイスでは変化する社会状況に適応するのは難しい。

ところが、社会が変化するといつても、安定した価値基盤がまったくないわけではない。その重要な構成要素の一つが宗教であるとすれば、キリスト教が自らのインターフェイス(社会との接続面)を鍛えるためには、他の宗教との対話、すなわち、インターフェイス(interface)な学びと対話を欠くことはできないだろう。橋爪氏が語るように、他宗教の学びを「ライブル」攻略の道具として使うことを私は好まないが、隣人の価値観や信仰(あるいは無信仰)に関心を持つことは、キリスト教の二つのインターフェイスを鍛え、結果としてキリスト教の魅力を高める宣教的効果をもたらすと思う。

(同志社大学神学部教授)

関西セミナーハウス活動センター

●2012年度修学院フォーラム「高齢を生きる」第2回
「高齢者福祉を繕う」
～NPOちいろばの働きを考える～

NPOちいろば「晴れる屋」責任者 君村 淳さん
NPOちいろば「スカサ」責任者 君村千代子さん
2012年10月27日(土)
日本基督教団世光教会



丁寧に優しく、相手の人格を尊重し、自由に、自主性を促すような福祉をめざしたいとの願いから設立されたのが、NPOちいろばである。マンション1階の2区画を使って、一つの区画に「スカサ(あなたの家)」という誰もが憩える居場所をつくり、もう一つの区画に高齢者小規模デイサービスを提供する。この二つの活動をしている。



二人の現場の責任者君村千代子さん、君村淳さんから発題を聞き、ちいろばの働きと活動が生まれるまでの話しを聞いた。教会の働きの中から生まれ、「隣人に対する小さな配慮」からその人を生かすために、どんな働きが可能か。そこから産まれたのが、給食の配食サービスであった。ただ、その配食を受けるものは、ほとんどの方が独居者で、孤

独の中で寂しい思いをしている。この孤独感を解消するために、独居の方を外へ出す必要性から、スカサのような居場所が必要となった。また、もう一つの流れは、自分の自由が効いて、安心してくつろげ、きめ細かく対応し、小回りのきくデイサービスのニードからであった。この二つの活動を通して、参加型の福祉をめざしている。スカサの活動はボランティアによってなされ、誰でもがその働きを担うことができる。参加者の一人は、「社会福祉と教会とが分断されている今日、新しい宣教の働きとして評価できる」といつていた。会に先立って、昼食「健康ランチ」の提供を受けた。味や、献立に、工夫や配慮が感じられ、一同楽しいひと時とまった。

謹賀新年

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

財団法人日本クリスチャン・アカデミー

理事長 シュベネマン クラウス

理事	戒能 信生	評議員	市川 邦雄
"	上林順一郎	"	入 治彦
"	小久保 正	"	岩崎 裕保
"	島田 恒	"	金山 顕子
"	中井 博雅	"	神崎 清一
"	中村 信博	"	木村 恵子
"	増田 琴	"	古賀 博
"	松本 敏之	"	小原 克博
"	横野 朝彦	"	武田 利邦
"	飯島 隆輔	"	平田 義
監事	神保 正男	"	藤田 実
"	"	"	(五十音順)

関東活動センター 関東運営委員長 戒能 信生

所長代行 横野 朝彦

関西セミナーハウス活動センター

関西運営委員長 小久保 正

所長代行 榎本 栄次

関西セミナーハウス 経営委員長

館長 中井 博雅

本部事務局

事務局長代行 黒岩 裕二

●2012年度関西セミナーハウス もみじまつり

2012年11月23日(金・祝)

関西セミナーハウスでは、毎年行われる恒例の「もみじまつり」が11月23日、朝9時から午後4時まで開かれた。参加者約470名。心配された天気は、何度か時雨れたが、何とか持ちこたえ、終わりの頃には日差しも見えた。

お茶席は、北風宗照先生の清心庵席と藤井宗恵先生の広間席は、終日賑わった。天候のため一字会の野点席は室内になったが、どうにかこなせたと思われる。渡辺総一作品展は一週間前から開かれており、多くの人に見てもらえた。渡辺氏による講演「み言葉はわが道の光」は、作者の信仰と芸術のこもし出す力強さが伝わってきた。

岩堀敬子先生と社中の皆さんの箏曲は、紅葉の風景も相まってすばらしい雰囲気であった。ただし天候不順もあり観客が少なかったのは惜し

まれる。ファミリーコンサートは世光教会のメンバーによる演奏で、堅苦しくなくてほのぼのとした雰囲気があった。終わりの「もみじ」の合唱は全員が大きな声で楽しめた。

終盤には、ようやく薄日の射す中、能舞台で日本舞踊が行われ、宮部素子さんの爽やかな舞が、まつりを締めくくった。

用意した弁当は、手作りの味わいで、皆思い思いの場所で楽しんだ。食堂の温かいうどん、そばも利用者は多かったと思う。全体を通じて来館者は例年より少なめであったが、洛陽の紅葉とセミナーハウスの建物が秋空によく映え、参加者には満足してもらえたと思う。



左 絵画展



右 日本舞踊

関西セミナーハウス

もみじまつり寄付者ご芳名 (順不同、敬称略)

- | | |
|----------------|------------|
| (株)柴橋商会京都支店 | 小山 稔 |
| 平野 正 | 税理士法人トーマツ |
| (株)藤木工務店 | 中村泰洋園 |
| 石原 順子 | 中村 信博 |
| 西村 久代 | 長谷川 義紘 |
| 白方 誠彌 | 八田 一郎 |
| 新宗連大阪事務所 生田 茂夫 | 白子 宗令 |
| 井上 勇一 | 村地 こみち |
| 浅田 凉子 | 松本 圭子 |
| 安住 宗住 | 山口 務 |
| 荒本 宗玲 | 横野 朝彦 |
| 飯田 ふみ子 | 中上 卯一郎 |
| 大下 道 | 社会福祉法人修光学園 |
| 角 多平 | 越田 宗紀 |
| 北垣 景子 | 松原 千里 |
| 喜多村 やよい | 佐野 千枝子 |
| シュペネマン クラウス | |

寄付金計 240,000円

感謝をもってご報告いたします。



上・右 もみじまつりコンサート



プログラム案内

◆**関東活動センター**

■**今日的課題プログラム**

「脱原発社会と自然エネルギー」

講師：牛山 泉さん (足利工業大学学長)

日時：2013 年 2 月 16 日 (土) 14:00 ~ 16:00

会場：日本キリスト教会館

参加費：1,000 円 (賛助会員 900 円 / 学生 500 円)

■**日本クリスチャン・アカデミー 聖書講座**

講師：吉岡康子さん (青山学院短期大学宗教主任)

東 西 南 北

荒井俊次さん、元関東活動センター所長、当財団元総主事が、2013 年 1 月 16 日、80 歳で逝去されました。国際基督教大学教会、世界教会協議会 (WCC)、アジア・キリスト教協議会 (CCA)、日本クリスチャン・アカデミーでご奉仕されました。アジアのエキュメニカルリーダーの一人として知られていました。荒井さんのお働きに感謝するとともに、謹んで哀悼の意を表します。

財団本部 <http://www.academy-nippon.com>
 関東活動センター <http://www.academy-tokyo.com>
 関西セミナーハウス <http://www.kansai-seminarhouse.com/>
 関西セミナーハウス活動センター <http://www.academy-kansai.org>

財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
 理事長 シュベネマン クラウス

本部事務局

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23
 TEL 075-711-2147
 FAX 075-701-5256

関東活動センター

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
 日本キリスト教会館 1 F
 TEL 03-3207-6198
 FAX 03-3207-2478
 E-mail: info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス /

関西セミナーハウス活動センター
 〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23
 FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス

TEL 075-711-2115
 E-mail: info@academy-kansai.com

関西セミナーハウス活動センター

TEL 075-711-2117
 E-mail: office@academy-kansai.org

日時：2013 年 2 月 ~ 6 月の月曜日 夜 (19:00 ~ 20:30)・原則月 1 回 全 5 回
 ① 2 月 18 日 ② 3 月 18 日 ③ 4 月 15 日 ④ 5 月 20 日 ⑤ 6 月 17 日

会場：日本キリスト教会館 6 階 会議室

参加費：1,200 円 (賛助会員 1,000 円 / 学生 500 円)

共催：早稲田奉仕園

◆**関西セミナーハウス活動センター**
 ■**第 4 回神学生交流プログラム**

「日本文化とキリスト教 — 京都におけるキリシタン文化を訪ねて —」

校長：神田健次さん

講師：杉野 榮さん

日時：2013 年 3 月 25 日 (月) ~ 27 日 (水)

会場：関西セミナーハウス

対象：各神学校から推薦を受けた学生

共催：関東活動センター

賛助会費・後援会費・寄付金報告

2012 年 11 月 1 日 ~ 2012 年 12 月 31 日
 (順不同・敬称略)

◆**関東活動センター**

賛助会費

松本 敏之 5,000
 立原 敬一 5,000
 天野 文子 5,000
 島田 治夫 2,500
 石塚多美子 5,000
 横浜雙葉学園 校長 千葉拓司 10,000
 宗教主任 木下庸子 10,000
 松浦 茂長 5,000

寄付金

北川はるみ 5,000
 糸原由美子 2,000

クリスマス募金

日下まり子 5,000
 立原 敬一 5,000
 松原 悦子 2,000
 天野 文子 2,000
 綾部 優子 1,000
 小林 義彦 2,000
 無名氏 3,000
 橋口 仁 2,000
 藤 知佳 5,000
 無名氏 1,000

◆**関西セミナーハウス**

寄付金

蕩々会 10,000
 田中 10,000
 T M I 総合法律事務所 300,000
 櫻楓会 30,980

◆**関西セミナーハウス活動センター**

賛助会費

井上 勇一 5,000
 糸原 良禎・由美子 10,000
 酒井 哲雄 3,000
 大久保 由美子 3,000
 西岡 裕芳 5,000
 白子 宗令 5,000
 福留 順子 5,000

井上 和子 5,000
 千賀 不二 5,000
 八田 一郎 10,000
 關岡 一成 5,000
 殿村 元一 3,000

寄付金 (クリスマス寄付金を含む)

金山 颯子 1,040
 榎本 栄次 10,000
 飯沼 鼎一 5,000
 木下 寿子 5,000
 立石 昭三 3,000
 西川 治郎 3,000
 島田 恒 10,000
 徳弘 篤介 3,000
 北風 照子 5,000
 平林 喜博 3,000
 伊藤 真知子 5,000
 日本基督教団 希望ヶ丘教会 5,000
 塚本 誠一 5,000
 鳥井 清司 5,000
 立石 嘉子 10,000
 斉藤 洋子 5,000
 今井 奈都子 2,000
 金山 颯子 1,040
 日本基督教団 世光教会 50,000
 橘 俊子 20,000
 京都 YMCA 5,000
 魚木 アサ 5,000
 日本キリスト教会 吉田教会 10,000
 北野 宗香 5,000
 高橋 望 2,000
 中西 綾子 3,000
 櫛田 道子 3,000
 藤谷 正一 3,000
 茂 洋 10,000
 神戸ドイツ語教会 31,290
 北垣 景子 1,000
 丸山 まり子 7,200

第 4 回神学生交流プログラム募金は、次号に掲載させていただきます。以上、感謝をもってご報告申し上げます。

前号訂正

第 540 号 (2012 年 12 月号) 2 ページに、校正ミスがありました。
 タイトル囲み内
 誤：栗原 輝夫さん 正：栗林 輝夫さん
 大変失礼いたしました。お詫びして訂正いたします。